コースコード：EC-CASEJ
税込価格：250,800円 (税抜価格：228,000円)
日数：2日間

前提条件

プログラミング言語Javaを理解していること (ORACLE 認定資格Java Silver 相当の知識を有する方)

受講対象者

Windows/Webベースのセキュアアプリケーションを Javaの設計 、構築を担うプログラマ、エンジニア
Javaアプリケーションの開発に携わるエンジニア

コース概要

CASE Java(認定アプリケーションセキュリティエンジニア - Java)は、Javaのセキュリティ機能、セキュリティポリシー、長所と短所などを幅広く学習することができるコースです。開発者が、安全で堅牢なJavaアプリケーションのプログラムの書き方を理解する手助けをするとともに、悪意とバグのあるコードを効果的に阻止できる、Javaのセキュア開発の様々な側面に関する知識を提供します。セキュリティに配慮してJavaコーディングを行うことで、貴重な労力、資金、時間を使わなくてすみ、場合によっては、Javaアプリケーションを使う組織の評判を落とす心配もなくなります。

目的

・セキュア開発ライフサイクルに目を向け、セキュアアプリケーションを一から築き上げていくことが求められている現状をきちんと理解できる
・プログラミングの基本的なスキルにとどまらず、ソフトウェア開発ライフサイクル全体に適用できる、確かなプロセスと手法を身につけることができる
・セキュアコーディングのベストプラクティスに従わないとどのような結果を招く恐れがあるかを説明できる

アウトライン

- セキュアソフトウェア開発
- エラー処理とロギング
- 認証と承認
- Javaセキュリティ概論
- 入力チェック
- Javaの並行処理 / セッション管理
- Java暗号化
- ファイルの入出力とシリアライズ
- JAAS
- Javaアプリケーションの脆弱性